

【開館1周年記念】明治から現代まで、日本の「知と芸術」の凝縮

Condense NIPPON

開館1周年を記念して、明治時代の古書から現代の洋書まで、一千冊の本を新たに購入しました。日本の魅力を海外に伝える本、外国人が書いた日本文化紹介の美しい本など、一般には手にすることの難しい貴重な本も揃え、展示します。

◆ 和の貴重書公開 ◆ 開催日：9月22日～12月28日

「明治時代のちりめん本 ～欧文挿絵本～」

長谷川武次郎 編集・出版
『Japanese Fairy Tale Series 日本昔噺シリーズ』全20冊 展示場所▶3階エレベータ前



『花咲爺』 『勝々山』 『猿蟹合戦』



『日本の噺し家』 展示場所▶2階パープルゾーン

Crepe paper book 【ちりめん本】とは？

「ちりめん」といっても布ではありません。和紙木版で刷り上げてクレープ状に加工し、縮めた紙を製本したものです。明治中期から昭和初期まで、日本人のための外国語教材や外国人のお土産用などとして出版されましたが、多くが輸出されたため日本ではあまり知られていません。英語だけでなく、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、オランダ語に訳されたものもありました。

EVENT & SEMINAR

参加無料 ちりめん本の 公開イベント&セミナー

貴重なちりめん本の複製を手にとりご観いただけます。その独特の手触りを感じてください。

- 日時：期間中の毎週日曜日（最終日は12/23）14:00～15:00
- 会場：3階エレベータ前
- 10/28、11/25、12/16には解説セミナーを行います。講師：新田 勇（雄松堂書店 古書事業部 部長）

「訪日外国人が書いた 美しい日本」

『JAPANESE GOLDFISH 日本の金魚』 スミス 著

明治時代に単身渡米し、当時最新の写真技術を学んだ小川一眞。帰国後、写真師として活躍しながら、積極的に当時の風俗を写真に記録し、写真帖として多数刊行しました。モノクロ写真に彩色をほどこした写真は独特の異国情緒を漂わせています。上野の桜、隅田川など明治の風景をお楽しみください。



展示場所▶2階パープルゾーン

「小川写真館に 残された古写真」

『THE HANAMI 明治32年のお花見の風景』 小川写真館 編

明治時代に単身渡米し、当時最新の写真技術を学んだ小川一眞。帰国後、写真師として活躍しながら、積極的に当時の風俗を写真に記録し、写真帖として多数刊行しました。モノクロ写真に彩色をほどこした写真は独特の異国情緒を漂わせています。上野の桜、隅田川など明治の風景をお楽しみください。



展示場所▶1階エレベータ前

◆ 和と洋の新作本展示 ◆ 開催日：9月29日～12月28日

「日本の伝統と芸術～和書と洋書から」



お貸し出し
できます

- 展示場所▶2階パープルゾーン(9/29-10/14) 3階アート情報支援コーナー(10/16-12/28)
- ①『The Curious Casebook of Inspector Hanshichi / University of Hawaii Press』岡本綺堂による時代小説「半七捕物帳」の英訳。探偵小説としてのみならず、繊細な風俗描写が江戸を理解する資料としても高く評価されています。
- ②『Japanese Visual Culture / An East Gate Book』マンガとアニメについての論考集。日本マンガの歴史から、少女マンガ史、戦争を描いたマンガ、アニメと日本文化の関係など、幅広いテーマが扱われています。

Service News

○ 2、3階書架の蔵書移動をしました
3階の書架では下記のようにジャンルを移動し、ご希望の本が探しやすくなりました。見つからない場合はスタッフにおたずねください。
▶ ブルーからグリーンへ：歴史、人物、民俗
▶ グリーンからブルーへ：スポーツ、娯楽、言語 等

○ オレンジゾーンに
ビジネス情報コーナーができました
2階オレンジゾーンでは、「統計データ」「法令集」「判例集」「企業情報」「業界情報」などビジネスに必要な本を集めたコーナーを新しく開設しました。ビジネスでの情報収集の場として、ぜひご活用ください。

現在行っている展示 ▶ オレンジゾーン メイン展示「UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ欄-臨時特集「統計データで世界を知る OECD編(～10/14)IMFと世界銀行(10/1～)」セクション展示「データベース・IRS 経営情報サービス」「日比谷カレッジの学びを深める」▶ パープルゾーン メイン展示「私たちが愛した日本 Marvelous Japan」セクション展示「市川團十郎 荒事の世界(関連本展示ピックアップ)」「東京會館とその時代」「江戸切絵図」▶ グリーンゾーン メイン展示「昔のこの国-日本におけるきのこのかわり」セクション展示「世界のミステリー-紀行 古代文明」▶ ブルーゾーン アート情報支援コーナー「益子のクリエーターがつくる「本の空間」(～10/8)メイン展示「ちよカル」ちよだカルチャーガイドAREA2：神田・神保町・秋葉原エリア」セクション展示「和のこころ」「LiteraryAward part7.マン・アジア文学賞 part8.太宰治賞」

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

千代田区立 日比谷図書文化館
開館1周年記念特別展

市川團十郎 荒事の世界

この度、開館1周年を迎える千代田区立日比谷図書文化館では、歌舞伎界の名門、市川團十郎家とのお家芸に光をあてた記念特別展を開催します。

四百有余年に及ぶ歴史を持つ歌舞伎は、我が国を代表する伝統芸能であり、2008年にはユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。その代表的な演技、演出のひとつである「荒事あらごと」は、元禄期に活躍した初代市川團十郎によって創始されました。また文化文政年間(1804～1830)から幕末にかけて活躍した七代目團十郎は、天保3(1832)に團十郎家のお家芸を「歌舞伎十八番」として制定したほか、屈指の人気演目として知られる『勧進帳 かんじんちんちよう』を初演するなど多大な足跡を残しました。今回の特別展では、荒事の代名詞といっても過言ではない「歌舞伎十八番」の衣裳や小道具、そしてその周辺資料である役者絵などを展示し、代々の團十郎の足跡と荒事の魅力をご紹介します。



「暫」鎌倉権五郎影政/市川團十郎 写真提供：松竹写真室



市川團十郎 写真提供：松竹写真室

特別展記念講演 「市川團十郎トークショー 荒事の世界」

日時：10月30日(火)11:00～12:00 講師：十二代目 市川團十郎
聞き手：葛西聖司(アナウンサー・古典芸能解説者)
会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
参加費：1000円(千代田区民500円) 定員：160名
＜参加方法＞往復ハガキに、下記必要事項を記載し送付ください。10月1日(月)消印有効。ハガキ1枚で2名までお申込み頂けます。応募者多数の場合は抽選となります。当選発表はハガキの返信をもってお知らせいたします。
必要事項：参加者全員分のお名前(ふりがな)、年齢、郵便番号・住所、日中連絡可能な電話番号
送付先：〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 日比谷図書文化館「市川團十郎トークショー」受付係
※このほかにも特別展関連イベントを予定しています。詳細は中面をご覧ください。

calendar 開館時間：平日10時～22時、土曜10時～19時、日祝10時～17時 休館日						
2012年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
2012年 11月						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■お問合せ先：日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL：施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343
URL：http://hibiyal.jp



10・11月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

特別展とともに楽しみたい！歌舞伎関連講座

開館1周年記念特別展「市川團十郎 荒事の世界」関連イベント

10/20 (土) 「歌舞伎衣裳の粋」お話と着付けの実演

衣裳を用意し、楽屋で歌舞伎俳優に着付けもする歌舞伎衣裳方として活躍した講師に、歌舞伎の衣裳や小物について、舞台裏のこぼれ話を交えてお話しいたします。

- 日時: 10月20日(土) 14:00~15:00(13:30より受付)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 講師: 海老沢孝裕(松竹衣裳株式会社 専務取締役)
- 定員: 160名 ■ 参加料: 500円

11/4 (日) 歌舞伎 荒事の魅力

力自慢の英雄が荒々しい動きを見せる荒事は、武士を中心にして都市形成がなされた江戸の地の気風にも合致し、大変な人気を獲得し、江戸歌舞伎を代表する演技、演出となったほか、市川團十郎家のお家芸となり、代々の團十郎によって継承されました。その魅力を語ります。

- 日時: 11月4日(日) 12:00~13:30(11:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 今井 豊茂(松竹株式会社 演劇製作部芸文室 室長)
- 定員: 60名 ■ 参加料: 500円

10/13 (土) 歌舞伎の名せりふで探る、歴史的瞬間

『元禄忠臣蔵』『將軍江戸を去る』など江戸城を舞台にした歌舞伎の名台詞をピックアップしながら、歴史が大きく変わった瞬間を探る講座。劇作家・眞山青果が台詞に託した大石内蔵助、徳川慶喜など登場人物たちの生き様もお話します。

- 日時: 10月13日(土) 14:00~15:30(13:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 眞山蘭里(舞台俳優、眞山青果著作権委員会 代表)
- 定員: 60名 ■ 参加料: 1000円(千代田区民500円)



豊川国周筆 特別研究室蔵書より

10/23 (火) 江戸歴史講座 第12回 国境を越える歌舞伎-荒事のユーモアの魅力-

荒事の創始者である初代團十郎の芸を受け継いだ二代目團十郎が独自に作り出した荒事のユーモアの魅力について語ります。

- 日時: 10月23日(火) 19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: ローレンス・コムズ(ポートランド州立大学教授)
- 定員: 60名 ■ 参加料: 1000円(千代田区民500円)

特別研究室ミニ通信

「お金の歴史一覽」

木下光雄編『教育参考資料 大日本帝国古今貨幣之図』(昭栄堂 1936年)4階特別研究室蔵

和同開珎や大判小判など昭和初期までに鑄造された貨幣がずらりと並んだ掛け軸です。それぞれの解説も付いていて、お金の歴史を学ぶための教材として製作されたものでしょう。特別研究室入口左の壁面で展示しています。

ナイトセミナー Night Seminar

～本当は教えたくない私の発掘本～

特別研究室ナイトセミナーは好奇心旺盛な人たちが集まって貴重な本をもとに語り合い新たな発見をする場です。知の探検に、どうぞお気軽にご参加ください!

- 日時: 毎週木曜日 18:30~20:00
- 会場: 4階 特別研究室
- 定員: 20名(先着順) ■ 参加無料
- ※お問い合わせ&お申し込みは特別研究室まで



10/9 (火) デキるグローバルビジネスパーソンになるための財務塾 企業分析編 ケーススタディでファイナンスを学ぼう! 第2回 成長企業のファイナンス

実際にファイナンス理論が活用されているケースをよく調べてみるのも財務学習方法の1つ。企業の成長段階に合わせて適切な戦略を学ぶために、成長企業にしばって事例をご紹介します。

- 日時: 10月9日(火) 19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 手島 直樹(財務コンサルタント・インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)
- 定員: 40名 ■ 参加料: 1500円

10/17 (水) ビジネス女子力をあげる! カラーレッスンで知る、色彩のメッセージ!

カラーセラピストの資格を持つ講師が色の持つ意味や力などを解説します。ワークショップ形式で楽しみながらビジネスシーンで役立てる方法を学びます。(持ち物:6色以上の色鉛筆)

- 日時: 10月17日(水) 19:00~21:00(18:30より受付)
- 会場: 4階 セミナールームB
- 講師: もち月りえ ■ 定員: 24名 ■ 参加費: 1500円

10/26 (金) 「日本歴史 私の最新講義」刊行記念講演会(全2回) 第1回 自由民権期の社会

明治初期の社会を、「近代化の装置」としての軍隊、警察、「生活の構造」としての冠婚葬祭、親子・男女関係、「娯楽の空間」としての公園、芸能、交通などさまざまな視点から考察し、近代日本の形成過程を考えていく。(主催: ㈱敬文舎)

- 日時: 10月26日(金) 14:00~16:00(13:30より受付)
- 講師: 大日向純夫

第2回 日本史の新しい見かた、捉え方

中世人が獲得した風景、身体、作法の三つの「思潮」。その後の社会、政治、文化などに大きな影響を与え、日本人のものの見方や考え方を規定していった。これらを踏まえ、新しい日本史の見方、捉え方を中世史の立場から提案する。(主催: ㈱敬文舎)

- 日時: 11月1日(木) 14:00~16:00(13:30より受付)
- 講師: 五味文彦(放送大学教授)

■ 会場: 各回地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

- 定員: 各回200名 ■ 参加費: 各回2000円

10/26 (金) iPadで学ぶデータベース 第3回 JRS 経営情報サービス

経営管理、人事・労務、財務・会計、経費節減等の経営相談Q&A、ビジネス文書、契約書式集等、ビジネス支援に的を絞った「JRS経営情報サービス」の操作方法を「強い会社になるために」をテーマに検索しながら学びます。

- 日時: 10月26日(金) 18:30~19:30(18:00より受付)
- 会場: 3階 グリーンゾーン スタッフ作業室
- 講師: 山本正人(株)経営ソフトリサーチ 営業担当部長)
- 定員: 10名 ■ 参加無料

11/3 (金) キャリア・コンサルタント向け 就職支援のための情報収集・提供法

就職活動を希望される方に企業・業界情報を提供する方法を学ぶセミナーです。図書館資料やデータベース、インターネット上の情報を活用して就職活動する人への支援法を学びます。(主催: 感動コミュニケーションズ 有限責任事業組合)

- 日時: 11月3日(土) 11:00~16:30(10:30より受付)
- 会場: 4階 セミナールームA
- 講師: 小松崎浩司(キャリア・コンサルタント)、望月実(公認会計士)
- 定員: 24名 ■ 参加費: 5000円

SHOP & CAFE

■ 1階 ショップ&カフェからのお知らせ

開館一周年記念特別展「市川團十郎 荒事の世界」の関連書籍コーナーを設けました。市川團十郎氏の著書や、歌舞伎月刊誌『演劇界』(演劇出版社)のバックナンバーなどを揃えています。展示とあわせてご覧ください。

<営業時間>
平日 11:00~19:00、土日・祝日 11:00~17:00

東京文化財ウィーク2012千代田区実施講座・講演会

都内で一斉に文化財を公開する「東京文化財ウィーク」が10月27日(土)~11月4日(日)に開催されます。千代田区でも、所蔵資料、および区内文化財、遺跡について各専門学芸員がわかりやすく解説する講座を実施します。

- 日時: 10月24日(水) 18:00~20:00「収蔵資料は語る一文献資料の世界」11月7日(水) 18:00~20:00「文化財は語る一区内文化財の世界」
- 会場: 4階 セミナールーム ■ 定員: 20名 ■ 料金: 200円

11/3 (土) ほか 開館1周年記念文学講演会 作家が語る「日比谷×文学×図書館」(全3回)

開館1周年を記念して、日比谷、本、文豪、そして、図書館について、3人の作家に語っていただく文学講演会です。

- 日時: 11月3日(土・祝)
- 第1回 作家・川本三郎「描かれた日比谷-文学と映画」
日比谷が登場する文学、映画などについて語っていただきます。週2~3回は図書館に通うという川本氏ならではの図書館にまつわる体験談も楽しみにしてください。
- 11月24日(土)

■ 第2回 評論家・坪内祐三「明治・大正・昭和の文豪と日比谷」
日本の近代文学についての造詣が深く、書評にも定評のある坪内氏の視点から、夏目漱石、谷崎潤一郎、永井荷風、樋口一葉など日比谷にゆかりの深い文豪たちについて語っていただきます。

■ 12月8日(土)
■ 第3回 作家・阿刀田高「図書館で言葉を磨く」
国立国会図書館の司書を経て作家となり、今春、山梨県立図書館長に就任なさった阿刀田氏に、図書館で知識を深め、自分ならではの言葉を見つける法を教えていただきます。

- ※各回ともに14:00~15:30(13:30より受付)
- 会場: 各回地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 各回200名 ■ 参加費: 各回1000円(千代田区民500円)

11/8 (木) 江戸歴史講座 第13回 出光美術館「琳派芸術Ⅱ」展連携企画 “酒井抱一”江戸で活躍した琳派絵師

酒井抱一(1761~1828)は、京の光悦・宗達・光琳らに継承された優美な琳派芸術を、江戸の地に再興した「江戸琳派」の祖として知られます。展示構成・テーマに新たな話題を加えながら、酒井抱一とその高弟・鈴木其一を中心とした江戸琳派の粋美をご紹介します。

- 日時: 11月8日(木) 19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 宗像晋作(出光美術館学芸員)
- 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民500円)

11/9 (金) 第7回 千代田区民講座 西堀榮三郎の探検人生に学ぶ 人生にロマンを求めて

科学技術者である一方、第一次南極観測隊の副隊長兼越冬隊長や日本山岳協会会長を務めた登山家、西堀榮三郎氏。息子の西堀峯夫氏が父から受けついで好奇心、探究心を持ち続ける事の大切さを語ります。

- 日時: 11月9日(金) 19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 西堀峯夫(理学博士)
- 定員: 60名 ■ 参加無料

11/11 (日) 新しい図書館学 第4回 柳与志夫さんと考えよう!これからの図書館員

日本の公共図書館は、経営形態、コレクション、図書サービスなどのあらゆる面で、情報環境や社会環境の大きな変化を受けて、転換期にあります。その中で変化を求められ、そのあり方を考えたい「これからの図書館員」をテーマに皆さんと考えます。

- 日時: 11月11日(日) 13:30~16:00(13:00より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 柳 与志夫(国立国会図書館)
- 定員: 60名
- 参加費: 一般2000円、学生1000円

*事前に簡単な課題があるため、Eメールでお申し込み下さい。
申込締切: 11月4日(日)

